

生薬を原料とした新しい製剤技術

日野製薬株式会社

所在地	木祖村
資本金	3,000万円
従業員数	34名
主要事業	医薬品の製造販売

公益財団法人長野県テクノ財団支援事例
【アルプスハイランド地域センター】
担当コーディネータ:川手修一

研究開発のポイント

【課題】

若い世代に当社の主力製品の百草・百草丸を普及することが困難

【開発概要】

岐阜薬科大学の竹内洋文教授の指導の下に、生薬を原料とし、剤形別で服用者が最も多い錠剤の研究開発を実施した。生薬原料の成形化が困難であったので基礎研究に10年間かかったが、目途がついたことから、支援制度により新たに錠剤工場を構築し、実証試験を進め、厚生労働省の認可を得ることができた。

参画機関

- 岐阜薬科大学(竹内洋文教授)

活用した支援制度

- 円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業費補助金 (H24年度:経済産業省)

主な開発成果

- 丸剤は1回20粒であるが、錠剤は1回3粒の服用量
- 生薬を原料としたフィルムコーティング錠の製造技術の確立(竹内教授の指導の下に全国で2社だけ)

効 果

- 板剤の百草に代わる百草錠を平成28年7月から新規販売
- 生薬を原料とした錠剤の研究開発力により、市場ニーズの高い症状に適合する新製品の開発を開始

錠剤製造工場



見学者広場



打錠室

